

## 新型コロナウイルス感染症のQ&A(令和2年11月24日時点版)

～現時点で市としてお伝えできる情報を、国のQ&Aなどを参考にまとめました～

### 受診の方法・相談窓口について

質問1) 熱が出て新型コロナウイルス感染症ではないかと心配です。どうしたらいいですか、近くの病院で検査してもらえますか？

答え) 新型コロナウイルス感染症を疑った時は、まずかかりつけ医に電話をして相談してください。夜間・休日やかかりつけ医がいない方は、大阪府の「新型コロナ受診相談センター」へ電話してください。

### 大阪府新型コロナ受診相談センター（帰国者・接触者相談センター）

電話：06-7166-9911      ファクシミリ：06-6944-7579

※土曜日・日曜日・祝日を含めた終日つながります。

質問2) 新型コロナウイルスにかかったらと、とても不安です。新型コロナウイルス感染症について相談するところがありますか？

答え) 市民の皆様には、ご心配はよく分かります。新しいタイプのウイルスですので、現時点ではワクチンや特效薬等は開発中です。咳エチケットと口元や目元からウイルスが入らないよう手指の消毒の徹底を心がけてください。また、持病などがあり、免疫力が低いと思われる方はできるだけ混雑した場所への外出は避けてください。

新型コロナウイルス感染症を含む一般的な疾病予防のご相談窓口は下記の通りです。

・府民向け相談窓口（受付時間 午前9時～午後6時まで 土日祝日も対応）

専用電話06-6944-8197      ファクシミリ06-6944-7579

・厚生労働省相談窓口（受付時間 午前9時～午後9時まで 土日祝日も対応）

専用電話0120-565653      ファクシミリ03-3595-2756

・守口市役所

健康推進課 専用電話 06-6993-2098 (午前9時~午後5時30分)

専用電話 06-6992-2217 (午後5時30分~午後10時)

(土曜、日曜、祝日を除く)

## 予防について

質問3) 新型コロナウイルス感染症予防のためにできることはなんですか？

答え) まずは、普段から健康管理(十分な睡眠や栄養のある食生活など)にこころがけてください。

具体的には、

- ① こまめな手洗いがとても重要です。帰宅時や、料理・食事の前など、口や鼻にふれる前に、消毒用アルコールが有効ですが、もし手元になくても流水で石鹸を使って手を洗いましょう。それだけでもかなりの効果があると言われています。
- ② 咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付き、ドアノブなどを介して他の人にうつす危険性があります。咳をする時は、マスクやティッシュ、ハンカチや服の袖を使って、必ず口や鼻をおさえましょう(咳エチケットのことです)
- ③ 室内の換気を定期的に行いましょう。
- ④ 高齢者の方や持病がある方、妊娠中の方は、できるだけ人混みの多い場所を避けるなど、より一層注意してください。

質問4) マスクがなかなか手に入りません。代わりにどのような方法があるでしょうか？

答え) 咳をする時は、自分の手で口元をおおうのではなく、ハンカチやティッシュ、タオルなど、口を手で塞ぐことができるものを代用することでも、咳やくしゃみなどの飛び散りを十分防

ぐ効果があります。

## 病気について

質問5) 新型コロナウイルス感染症とは、どんな病気ですか？どのような症状がでますか？

答え) ウイルス性の風邪の一種です。発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多いのが特徴です。

質問6) 感染したら、どんな人が重症化しやすいですか？

答え) 高齢者、心臓や肺、腎臓に持病がある方、糖尿病の方、免疫の低下した方などが重症化しやすいとされています。

質問7) もしウイルスが体内に入りこんだら、どれ位で症状がでるのですか？

答え) 感染から発症までの期間を潜伏期間といいますが、これは1日から12.5日（多くは5日から6日）といわれています。無症状の方もいます。

質問8) どのような時に感染するのですか？

答え) 現時点では、飛沫感染(ひまつかんせん)と接触感染の2つが考えられています。

- ・飛沫感染（ひまつかんせん）とは、感染者が咳をしてウイルスが放出された場合に、近くにいた他の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します
- ・接触感染とは、感染者が咳を手で押さえた後、その手でドアノブや電車のつり革、手すりなどに触れるとウイルスが付着することがあり、そうしたウイルスが多数付着した部分に他人が触れた場合、その手で口や鼻を触ることにより体内に入りこむことで感染します。

質問9) 空気感染は起きるのでしょうか？

答え) この間の国内での感染状況からは、空気中に浮遊しているウイルスを吸い込むことによる空気感染は起きていないと考えられています。ただ、すでに公表のとおり、屋形船やライブ公演会場など、閉鎖空間において近距離で多くの人と長時間会話するなど一定の環境下にあれ

ば、咳やくしゃみがなくても感染するリスクがあります。

**質問 10) 感染しても症状が出ない人がいますが、その人からも感染しますか？**

答え) 通常、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合、症状が最も強く表れる時期に、他人へ感染させる可能性が最も高くなります。一方で、無症状又は症状の明確でない者から感染が広がるおそれがあるとの専門家の指摘や研究結果もあります。市民の皆様は風邪などの一般的な感染症対策や健康管理を強く心がけてください。

**質問 11) ペットから感染しますか？**

答え) 新型コロナウイルスがペットなど動物に感染した事例は見つかっていません。ただ、ペットといえども動物を媒介する感染症は他にあります。普段から動物に接触した後は、手洗いをこまめに行うようにしてください。

## **感染拡大防止について**

**質問 12) 高齢者の多い社会福祉施設などでは、どのような感染対策を行っていますか？**

答え) 国は全国の施設等に対して、厚生労働省が示した感染対策マニュアル等に基づき、高齢者や職員、さらには面会者や委託業者等へのマスクの着用を含む咳エチケットや手洗い・手指消毒用アルコールによる消毒等、サービス提供時におけるマスクやエプロン、手袋の着用、食事介助の前の手洗いや清潔な食器での提供の徹底等、感染経路を遮断するための取組みを強く要請しています。

**質問 13) 仕事や地域の活動上、どうしても複数人で長時間集まることも避けられません。そうした場で集団感染を防ぐためにはどうしたらいいですか？**

答え) 換気が悪い空間や人が密に集まり至近距離（2メートル以内）で会話をする環境をできるだけつくりたくない、多人数で密に集まる時間はできるだけ短くする、などを心がけてください。

質問 14) 同居している家族に新型コロナウイルスの感染が疑われる場合に、家庭でどんなことに注意すればよいでしょうか？

答え) 次のことに気を付けてください。

- ① 部屋を分けましょう。部屋を分けられない場合は、2メートル以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンなどを設置しましょう。
- ① 感染が疑われる家族の世話はできるだけ限られた方で行いましょう。高齢者や持病がある方など重症化しやすい人は絶対に避けてください。
- ② 可能な限りマスクをつけましょう。マスクの表面に触れないでください。
- ③ こまめに手洗いをしましょう。(タオルは分けましょう)
- ④ 換気を定期的にしましょう。
- ⑤ ドアノブなど手で触れる共有部分を消毒しましょう。薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム濃度 0.05%→作り方:製品の濃度が6%の場合は水3ℓに液を25ml)で拭いた後、水拭きしましょう。
- ⑥ 汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう。取り扱う際は手袋とマスクをし、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。
- ⑦ ゴミは密閉して捨てましょう。

守口市は大阪府などと連携し、感染拡大防止に力を尽くしています。  
市民の皆様も引き続き、封じ込めに向けてのご協力、ご理解をお願いいたします。